

連合「クラシノソコアゲ応援団」 東京アクション11:10に参加

全自交東京地連は11月10日(木)日比谷野外音楽堂にて行われた連合関東ブロック主催の「クラシノソコアゲ応援団」東京アクション11:10の集会に参加しました。

11月10日は「過労死等防止啓発月間」となっており、労働者の声を届けようと各業界の上部団体が結集し、国民の暮らしの底上げを図るための運動を行いました。

連合関東ブロック代表の岡田啓会長の行動開始宣言がされ、次に関東ブロック地方連合の各地域の代表がひとことアピールを行いました。

来賓として、中央労福協・塩原事務局次長より「奨学金問題」について「現在、奨学金



を利用している若者は132万人となり、社会に出るときには300万円以上の借金を抱えて働いている。余裕がないため、結婚や子供を産むことが出来ずにいることが問題である」と述べました。

続いて、日本労働弁護団・福住堅治会長は「過労死問題」について、電通で起きた過労死による自殺した女性社員のメールの内容などを取り上げ、「家で寝る時間が2時間しかない生活を繰り返すことで精神的に追い込まれてしまった。労働だけではなく、パワハラやセクハラがある環境で労働をさせている会社の問題がある。これ以上、過労死を増やしてはいけない」と訴えました。

民進党からは都連会長の松原仁衆議院議員が連帯挨拶をし、「我々の生活を脅かす安倍政権を引きずり下ろし、労働者が報われる社会を作っていく」と野外に響き渡る大きな声で参加者に呼びかけました。



「団結ガンパロー」で集会が終わり野外音楽堂から鍛冶橋交差点までデモ行進が行われました

日本交通赤羽親睦ソフトボール大会

2016年11月17日(木)晴天の中、道満グリーンパークにおいて、日交赤羽親睦ソフトボール大会に東洋交通ソフトボール部が参加し行われました。

今回、日交練馬チームが残念ながら不参加となり、日交赤羽が3チーム、東洋交通1チーム、計4チームが総当たりで戦いました。



5月にクラブが結成されてから、現在では部員も29名となり、毎週練習を重ね今回の試合に臨みました。皆さん、仕事時の怖い顔とは違い、はつらつとした表情でプレーしていました。試合は3回戦行い、2勝1敗(1敗は、0対2の接戦)で、参加4チーム中、2位となりました。

今後、ソフトボール部は地域のリーグに参加し、一層組織の強化を図って行く様です。今後のソフトボール部に期待しましょう!

